

令和2年度浪江町除染検証委員会事業計画

浪江町では、平成28年度より除染検証委員会を開催しており、町内の除染や放射線等に関する問題や課題について様々な提言を受けている。

平成30年度までの検証結果として、避難指示解除区域に関しては「主な生活空間となる線量率の低減化が図られており、早期帰還を希望する町民の生活環境は着実に回復していると判断できる。」と評価を受けるも、「検証作業の中で、一部の地域には空間線量率が十分に低減されていない地点も存在する。」と指摘を受けており、この指摘に対し当検証委員会において「各課題に対する具体的対策について」として取りまとめており、このことの対応状況の検証及び確認を行うとともに、放射線等に対する町民からの意見等について現地調査及び検証を行うものとする。

また、現在除染と解体が進められている特定復興再生拠点について、除染効果の確認を行うとともに、除染作業や放射線等の問題案件が発生した際には検証を行うものとする。

浪江町除染検証委員会委員構成

氏名	所属・役職等
いのうえ ただし 井上 正	一般財団法人電力中央研究所 名誉研究アドバイザー ※福島県除染アドバイザー
つかだ ひろふみ 塚田 祥文	福島大学 環境放射能研究所 教授
とこなみ しんじ 床次 真司	弘前大学被ばく医療総合研究所 所長 ※浪江町「避難指示解除に関する有識者検証委員会」委員
さなだ ゆきひさ 眞田 幸尚	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門 廃炉環境国際共同研究センター 博士

浪江町除染検証委員会スケジュール

回数	検証
第1回 (11月16日)	<ul style="list-style-type: none"> これまでの検証委員会での各課題等の対策状況の検証及び確認 現在の町内の放射線の状況 個別案件等の検証
第2回 (3月29日)	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度浪江町除染検証委員会検証結果報告書取りまとめ

※検証内容については、状況によって変更となることも有る。